

## 大岡信ことば館企画展

### 「大岡信の万葉集展 旅人と憶良」

2012年6月30日（土）～10月16日（火）

本展はシリーズ企画「大岡信の万葉集展」の第3回目です。第1回目では、初期万葉時代の皇族たちの歌を中心に、神話的世界、古代の愛と死の世界を紹介しました。第2回目では、大陸から伝来した漢字を駆使して、日本語による詩の表現を築きあげた柿本人麻呂の壮大な詩の世界を紹介しました。そして第3回目では、人麻呂以後のヤマト文学の発展をになった大伴旅人と山上憶良にスポットをあてます。

旅人と憶良の作品がなぜこれほどにも面白いのかと、大岡信は自問しています。「それを説くことは、生れたときからずっと『日本語』の世界で育ってきた私にとって、ほとんどスリルに満ちているといってもいいような仕事でした。私は、自分が面白がれるものなのだから、他の人にもそう思ってもらえるだろう、というただそれだけの見当で、これらの難物に取り組んでいます」(『私の万葉集(二)』)と。

旅人と憶良が生きたのはいまから一三〇〇年も昔のこと。にもかかわらず、彼らの歌は、生まれたときからずっと「日本語」の世界で育ってきた私たちにとって、まるで隣人のことのように面白い。なぜでしょう。「自分が面白いのなら他の人にもそう思ってもらえるだろう」というのは、じつは、もし旅人と憶良が生きていたら、彼らも大岡信たちの訳詩や鑑賞を面白がってくれるだろうということなのです。大岡信は秘かに自分と彼らを重ね合わせている。西洋文化が押し寄せるなかで育ってきた自分たちと、中国文化が押し寄せるなかで育ってきた彼らとは、ほんとうはとても似ている、と。

旅人も憶良も決して順風満帆の人生を過ごしたわけではありません。その二人が九州の大宰府という任地で出会い、濃密な文学的交流を繰り広げます。いわば当時の最先端の文芸サロン。大岡信はそのサロンを、まさに同時代を生きる感覚で鮮やかに復元してみせます。大岡信ことば館は詩歌のタイムトンネル！

#### 記

【展覧会名称】 大岡信の万葉集展 旅人と憶良

【会期】 2012年6月30日（土）～10月16日（火）

【主催】 株式会社増進会出版社 大岡信ことば館

【開催場所】 大岡信ことば館  
〒411-0033 静岡県三島市文教町 1-9-11  
TEL:055-976-9160/FAX:055-989-1360  
<http://www.zkai.co.jp/kotobakan/>  
E-mail:kotobakan@zkai.co.jp

- 【展示内容】 『万葉集』の中から、大伴旅人、山上憶良の詩歌を数篇、それらに呼応するような大岡信の詩もあわせて、空間の中に造形的に展示します。
- 【開館時間】 午前 10 時～午後 5 時（入館は午後 4 時半まで）
- 【休館日】 月曜日／9 月 30 日（日）※整備点検のための臨時休館  
（月曜が祝休日の場合は開館し、翌日休館）
- 【入館料】 大人・大学生 500 円  
学生（小～高校生） 100 円  
65 歳以上 200 円  
団体（20 名以上） 2 割引  
未就学児 無料  
障害者手帳ご提示の方およびその付き添いの方 1 名 無料
- 【主催】 大岡信ことば館
- 【共催】 静岡新聞社・静岡放送
- 【協賛】 株式会社 Z 会、第一三共株式会社、伊豆箱根鉄道株式会社、  
みしまプラザホテル
- 【後援】 静岡県教育委員会、三島市教育委員会、沼津市教育委員会、  
長泉町教育委員会

## 大岡信プロフィール

1931 年、三島市生まれ。詩人。歌人大岡博の長男。父と窪田空穂の影響で、沼津中学時代に作歌・詩作を行う。旧制第一高等学校文科から東京大学文学部国文学科卒業。在学中に『現代文学』を創刊する。卒業後は、「シュルレアリスム研究会」を結成、詩誌『鰐』を創刊する。また、茨城のり子、谷川俊太郎らの詩誌『櫂』に参加し、後に連歌から発展させた連詩を実践する。読売新聞外報部勤務を経て、明治大学・東京芸術大学の教授をつとめた。1979 年から朝日新聞で 29 年間連載したコラム「折々のうた」は代表的な仕事のひとつ。詩と批評を中心に著書多数。ジャンルを超えた芸術家との交流も多く、ことばを通して多様な表現活動を行っている。文化勲章（2003 年）、レジオン・ドヌール勲章（2004 年）受章。日本芸術院会員。

### 【問い合わせ】

住所 静岡県三島市文教町 1-9-11 大岡信ことば館  
TEL:055-976-9163/FAX:055-989-1360  
<http://www.zkai.co.jp/kotobakan/>

広報担当・神田茂紀/展覧会担当・中村童子

## 会期中イベント

### 企画展関連講演会

講師：稲岡耕二（上代日本文学研究者）

日時：7月22日（日）

14:00～15:30

料金：1000円（展覧会入館料を含む）

定員：150名

会場：大岡信ことば館3階ホール

### 詩作ワークショップ「ことばを人生の味方に」

講師：上田假奈代（詩人）

日時：8月5日（日）

10:00～12:00

対象：小学5年生～中学生

料金：500円

### ふじのくに子ども芸術大学講座「読書感想文って難しい？」

講師：大岡玲（作家）

日時：8月19日（日）

13:30～15:00

定員：先着20名

対象：小学4年生から

料金：無料

### いけばなワークショップ

講師：福島光加（草月流師範会理事）

日時：9月9日（日）

10:00～12:00（大人クラス [対象：高校生以上]）

14:00～15:30（子どもクラス [対象：小学1年生～中学3年生]）

### ワークショップ「映像であそぶ一旅するコトバー」

講師：本原玲子（造形作家）

日時：10月7日（日）

13:30～15:00

※ 各イベントの内容やお申込の方法などにつきましては、大岡信ことば館ウェブサイト（<http://www.zkai.co.jp/kotobakan/>）のトップページや「イベント情報」ページも合わせてご参照ください。

〈問い合わせ先〉大岡信ことば館  
〒411-0033 静岡県三島市文教町1-9-11  
TEL:055-976-9163/FAX:055-989-1360  
<http://www.zkai.co.jp/kotobakan/>  
E-mail:kotobakan@zkai.co.jp